

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

男子Cリーグ戦
大垣市水球クラブ

10

2	－	0
3	－	0
3	－	0
2	－	2

 2 広島県選抜

審判： PSO
縄井 裕平
武松 直輝

この試合のプレー集計

大垣市水球クラブ	16	SH数	15	広島県選抜
	5	速攻数	2	
	14	ST・SB	7	
	7	SH・P誘発アシスト	2	
	83%	GK阻止率	29%	
4	EX反則数	3		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

大垣は決勝トーナメント進出が見えてきた段階で、対する広島は予選リーグ敗退が確定している中での対戦となった。広島は泳力では劣るものの、粗削りな若いセンター選手を軸に成長が期待できるチーム。群馬戦で見せた大垣ディフェンスを崩せることができるか。

【1P】

広島はセンターで退水を誘発するが、パス回しに時間を費やし、外周からのシュートでボールは大垣に。飛び出した大垣⑩野村に独泳状態で決められてしまい、大垣が先制点をマーク。その後も広島は退水攻撃のチャンスをつかむが、パスが緩慢で失敗。そこを大垣に再び突かれて④小野が2点目をマーク。ゲームは大垣ペースのまま、大垣2－0広島で第1ピリオド終了。

【2P】

ピリオド開始から大垣が退水を誘発し、そこを④小野が決めて点差を開いた。その後は双方ゆったりペースの水球が続いたが、大垣がペナルティを誘発してチャンスをつかむ。そのシュートは広島GK①山田がセーブしたが、こぼれ球をつないで⑦川合が決めて4点目。広島は退水攻撃のチャンスもミスでボールは大垣へ。そこを⑩野村に決められ、点差を広げられて第2ピリオド終了（大垣5－0広島）。退水攻撃などのチャンス時に、ボールがゆっくり回る状況だとディフェンス側に余裕を与えてしまうことになるわけで、そうしたチャンス時のテンポアップが広島側の課題であろう。後半にどこまで改善できるか。

【3P】

広島は攻撃時にボールが繋がらず、大垣に完全に主導権を握られてしまった展開。ピリオド序盤から大垣の攻撃ですべて得点をマークする形で一気に点差がついた。大垣8－0広島で第3ピリオド終了。

【4P】

何とか零封だけは免れたい広島だったが、大垣⑩北川にペナルティを誘発されてさらに失点。しかしその直後、ボールを右に回して⑦高阪が決めて初得点。その後も点を返して、このピリオドは2－2。大垣側が選手交代した影響もあるが、最後は面目を保った形で試合終了。終始安定した試合運びで大垣10－2広島と、大垣は上位進出が見えてきた。

敗れたものの、広島には今後の成長を感じさせるものがある。センターでのポジショニングまでは悪くないが、ボールが入ってから身体動作が緩慢だとディフェンスに対応されてしまう。そのためには、いかに脚を使ってディフェンス対応を困難にさせるかという動きの習得に向けて一歩ずつ階段を登っていけば、なかなか面白いチームに成長するのでは？